

シルバーとよなか

ふれあい

2003年1月

鳳祥

社団法人 豊中市シルバー人材センター

No.36

新 春 を 迎 え て



理事長
水上 利夫

新年あけましておめでとございます。

皆様には、平成十五年の新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年中は、当センターの事業運営にご理解・ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

とりわけ、市民の皆様をはじめ各事業所、行政機関等の幅広いご



豊中市長
一色 貞輝

明けましておめでとございます。

皆様方には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は市政の推進に格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年四月の市長選挙では、市民

支援をいただき、厳しい経済環境の中ではありますが、昨年十一月末現在の事業実績は前の年度に比べ二十%以上の増加をしております。

このことは、多くの会員に就業機会を提供でき、その豊かな経験や能力を生かすことにより、会員の生きがいが高め、活力ある地域社会づくりに大きく貢献できたものと思っております。

一方、わが国の経済動向は、最近発表された完全失業率は全国平均で五五%で過去最悪水準であると報じておりますが、特に近畿地方では七二%と、全国平均に比べ、厳しい状況が伝えられております。

雇用や所得への不安から消費も伸び悩み、景気の牽引役の輸出は勢いが鈍化し、今後の米国経済や

株価の動きによっては景気は底割れる恐れもあるといわれております。

このような状況ではありますが、豊中市の全人口に占める六十歳以上の人口の割合は約二十三%で九万人に達しようとしており、今後、いわゆる団塊の世代がシルバー世代になる時期を目前にして、これからの超高齢社会に対応していくためには、シルバー人材センターの果たす役割と責任は誠に大きなものがあると思っております。

「年齢にかかわらず働く社会に関する有識者会議」の中間報告では、人口の高齢化と労働力の減少が進む社会全体という背景を踏まれば、過度に年齢に偏った現行の雇用システムを見直し、年齢

にかかわらず能力を発揮して働ける社会を作り上げていくことが必要であると指摘しております。

当センターでは、厳しい社会経済状況ではありますが、時代の要請に応えるべく、会員による自主・自立・共働・共助を基本理念にして、元気な高齢者がいつでも参加できる体制を整備しながら、就業環境の変化や多様化に対応し得る経営基盤の確立と、お客様のニーズにきめ細かく対応し、利便性のよい魅力あるセンターづくりのため、私も役職員一同頑張つて参る所存でございます。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして、よりよい年となりますようお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

の皆さんの力強いご支援をいただき、お陰様で二期目の新春を迎えることができました。信念も新たにしながら、市民本位の開かれた市政を基本に「活力に満ちた魅力あふれるまち・ふるさと」としていつまでも住み続けたいまち「豊中」の実現をめざし、誠心誠意取り組んでまいりたいと存じます。

昨年は、株価もバブル崩壊後の最安値を記録するとともに、近畿地方の失業率が過去最高の数値を記録するなど、暗いニュースの一方で、日本人がノーベル賞をダブル受賞するなど明るい話題もありました。また、日朝首脳会談が行われるなど、歴史の新たなページが開かれた年でもありました。

本市では、昨年度の一般会計が四年連続赤字決算になるなど、大変厳しい財政状況が続いております。こうした中、市民の皆様のご協力のお陰を持ちまして、第三次豊中市総合計画の第二期実施計画をはじめ、中心市街地活性化基本計画や循環型社会づくりをめざした第二次一般廃棄物処理基本計画などを策定するとともに、千里少年文化館、緑と食品のリサイクルプラザをオープンすることができました。

本年は堂池駅前再開発ビルが竣工し、同ビル内に教育センター、図書館、公民館、多目的ホールを開設します。また豊中駅サテライトスタジオをオープンさせると

もに、民間法人のご協力をいただき、サポテン公園跡地に高齢者と障害者のための総合福祉施設が竣工する予定となっております。

今後とも地方分権時代にふさわしい行政システムを確立しながら、市民・事業者・NPO・行政の協働とパートナーシップにより、安全で安心して暮らせる「二十一世紀にはばたく豊中」のまちづくりを推進してまいります。

今年も一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げますとともに、新しい年が社団法人豊中市シルバー人材センターの皆様方にとりまして素晴らしい年となりますようお祈りいたします。

あけまして おめでとうございます

理事長 水上 利夫
副理事長 藤田 泰通
常務理事 中川 善博
理事 岡本 宗五男
理事 小森 秋男
理事 笹部 智恵
理事 高塚 准一郎
理事 武井 利雄
理事 徳永 美恵子
理事 平田 登美子
理事 松永 彰
理事 行田 尊子
理事 野口 高茂
理事 湯川 善之
監事 西村 康夫

地域班役員
第一班 青木 富雄
第二班 西川 三郎
第三班 牛田 秀吉
第四班 永吉 功男
第五班 大森 一男
第六班 吉川 武二郎
第七班 中川 満雄
第八班 紅山 正義
第九班 梶田 正優
第十班 尾崎 千秋
第十一班 伴野 照次
第十二班 下村 登美子
第十三班 吉村 君子
第十四班 井上 早雄
第十五班 栗原 善夫

第六班 牧田 嘉之
第七班 田中 ムツ子
第八班 小野 夏枝
第九班 長永 夏枝
第十班 濱本 五夫
第十一班 中島 徳重
第十二班 中森 義一郎
第十三班 紅山 正義
第十四班 梶田 正優
第十五班 尾崎 千秋
第十六班 伴野 照次
第十七班 下村 登美子
第十八班 吉村 君子
第十九班 井上 早雄
第二十班 栗原 善夫

第九班 川端 憲一
第十班 野口 高茂
第十一班 岐口 弘昭
第十二班 青木 三ツ子
第十三班 岡本 正澄
第十四班 石黒 英則
第十五班 江崎 典次
第十六班 播磨 敏夫
第十七班 早川 昌之
第十八班 日下 昌之
第十九班 田中 時太郎
第二十班 藤元 正信
第二十一班 本橋 憲明
第二十二班 高橋 清信
第二十三班 本川 正利

第十四班 藤田 泰通
第十五班 山本 修三
第十六班 吉岡 幸弘
第十七班 原田 信正
第十八班 川嶋 信正
第十九班 安見 穂
第二十班 谷川 教穂
第二十一班 武市 孝彦
第二十二班 藤井 英彦
第二十三班 干綿 礼子
第二十四班 中川 時子
第二十五班 河崎 泰三
第二十六班 秋本 光三
第二十七班 内藤 光三
第二十八班 竹中 マサノ
第二十九班 伊藤 由造
第三十班 藤村 多仁子

安全就業委員
金子 勝蔵
久野 吉秀
堀田 力
吉岡 弘
高塚 准一郎
行田 尊子
川末 美津子
中村 幸雄

独自事業プロジェクト推進委員
A部会 原健一
B部会 山田 篤彰
C部会 永吉 功男
D部会 古川 正雄
徳永 美恵子
笹部 智恵子
栗原 善夫
小野 彰三
小宮 邦彦
武井 利雄
伊藤 由造
竹中 マサノ
藤村 多仁子



豊中市議会議長
福本 育馬

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様方には、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、市議会活動ならびに市政各般にわたり、あたたかいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年を振り返りますと、日韓共

同開催で沸いたサッカーW杯や北朝鮮の拉致問題が連日報道されておりましたが、一方、世界各地では、パリ島での爆弾テロやモスクワでの劇場占拠事件など、私たちが震撼させた事件が相次いだ年でもありました。また、わが国の経済状況を見ても、景気の低迷は依然として続いており、株価がバブル崩壊後の最安値を更新する中で、政府は不良債権処理やデフレ対策など経済全体の活性化に取り組んでおりましたが、完全失業率は5%台以上の高い水準で推移しております。特に大阪を中心とする関西経済の不振は依然として厳しい状況となっております。

このこと踏まえて、平成十三年十二月に新しい高齢社会対策大綱が閣議決定され、多様なライフスタイルを可能にする高齢期の自立支援や世代間の連帯強化、地域社会への参画強化など、旧来の高齢者像を見直すことを基本姿勢に掲げております。

このような中、久しぶりの明るい話題といたしましては、二人の日本人が同じ年にノーベル賞の栄誉に輝き、私達を大いに勇気づけられたものです。さて、第一次ベビーブーム世代が高齢を迎える平成二十七年ごろには、四人に一人が六十五歳以上で占められると予想されております。市議会といたしましても、市理事者と連携をしながら、高齢者が自らの経験や知識を生かして、積極的に社会参加できる健康で心豊かな福祉のまちづくりに努力を傾注してまいり所存であります。最後になりましたが、社団法人豊中市シルバー人材センターの更なるご発展と、今年も皆様方にとりまして、幸多い年でありますようお願いいたします。新年のご挨拶といたします。



A部会

原 健一

昨年十二月に将来を見つめ、シルバー人材センターとして、独自事業を立ち上げようという機運が高まりました。そこで要項を作成し、二年間の時限を定め、A・B・C・Dと各部会を四つにチーム分けしました。私はA部会の所属に決まりました。

独自というものの、全く新しい事業というのは簡単に創設できま

せん。A部会では、経理・総務関係のアウトソーシングと自分史、記念誌等の編集・発刊のお手伝いの二つを掲げますすぐに始められ、しかもすぐに経費が多く掛からない、ということを基準に自分史の編集等を自分たちでできることから始めようとの結論ができました。

担当者に大阪管内のシルバー人材センターのどこかで、活動しているところがあれば参考にしたいと考え、あちこちと問い合わせを頂きましたが、どこもやっていない。これは逆にチャンスになると思いました。

自分史の編集等を希望する会員の中からリーダー及び副リーダーを選出し、いよいよ行動を開始するところまで進んできました。といっても一年近くになって受注活動が出来ていないのはやっていないのと同じことです。

自分史を作りたいという人が身近にいないか、アンケートを取る、チラシ等を作成し配布する、など早急に活動を開始したい。進まない原因を考えれば、チーム別会議(打合せ)も毎月二回ほど定例化しないと進展しないでしょう。そのことも踏まえ今後の対応をしてゆきたいと思っております。

B部会

山田 篤子

独自事業推進プロジェクト委員会が発足し、まもなく一年が来るやに思います。

豊中市シルバー人材センターの種々の事情、様々な障害や我々の認識不足などもあり非常にゆっくりとしたペースでしか進展しない、もどかしさを感じます。



私の所属するB部会も学校の余裕教室の利用という教育現場での特殊な環境であるため、一向に進行いたしません。行政の決定待ちや利用にあたっての色々な制約も出てくると思われますので、前途多難の状態であります。

これまでの状況から、営業活動は可能なかどうか不明であり、余裕教室利用は利益優先、我々の仕事は我々の企画から創り出すという、独自事業推進プロジェクトの精神からは少々別の路線を行かなければならない場合がありう

るかなと思われま。シルバー人材センターの利用以外で空き時間があれば、福祉の観点から教室の利用を考えた方が良いのではと個人的には思う状況であります。

人材センターの会員はもちろん、地域のシニアの方々ターゲットを絞るにしても、生涯学習の場やレクリエーション等地域のコミュニケーションの場としての活用を考え、インクルージョンの精神で地域福祉のキーステーションの場として、もちろんセンターには負担を掛けないように運営費は生み出せる利用方法をめざす部会にならざるを得ない……?

あくまでも個人としての思いが一〇〇%であります。

いすれ四月以降のこととなりま。まだまだ多くの人のご意見を聞きながら、そして学校という特殊環境の為どのような制約があるかも知れません。ましてシルバー人材センターとしての利用が優先となりますので、早急に確認をいただいた上でB部会としての理念、方向づけを話し合い、活用方法を模索していきたいと思っております。と同時に、他の部会との横の連絡も密にし可能な限り教室の利用を有効に活用していく方向

に取り組みたいと思います。皆様のご意見を多数お寄せ頂きますよう、切にお願い申し上げます。

C部会

永吉功男

独自事推進プロジェクト委員会 C部会は、平成十四年七月の会議で、次の三案について調査・検討の状況について行われました。

- (一) ガレージ・セール
- (二) 修理工房
- (三) 自転車レンタル事業

これら事業の具体化を進めるに当り、リーダーに永吉功男、藤本哲三さん、田尻正雄さんの三名が指名されました。

第一案のガレージ・セールに関してはリサイクル・バーター・ショップの形で最初は会員を対象として開設運営しながら、将来の拡大のためのアンテナ・ショップとして、情報の収集を行ってみることを考えています。

所謂リサイクルショップは既に方々に出店されていますが、当事業では中古品ではなく、新品又はそれに近いものであって各家庭で使用されていない景品や贈答品などで不要な物を提供して売買交換

の場を設けることを目標にしています。そしてできれば来春にはアンテナショップを立ちあげるべく、具体策を検討しております。

第二案の修理工房については、シルバー人材センター会員の方で家電製品・玩具・カメラ・木工品その他の品々の製造等に技術を持っておられる方々に登録して頂いて、一般家庭で故障破損した物品の修理再生を行うことを考えています。そのためにはまずこのような技能を持たれており、意欲のある方々に申し出ていただく、対象分野を決める必要があり



ます。更に修理設備や必要器具の調達整備を進めるための検討を行う考えであります。

第三案の自転車レンタル事業は昨今の放置自転車の増加による駅周辺における交通障害や、その撤去保管作業による損失を少しでも減少させるための手段として考えてみたものであります。既に一部では事業として手がけている企業

もありますので、この実態やレンタルを実施する候補地についての調査を行っています。使用する自転車は放置保管され引取りに來られないものの払下げを受けて充当する案を中心に検討しており、同時にレンタルを実施する場所と施設の選定を行わねばなりません。その他レンタル料金、保証金を始め運用時間や事故修理対策等の問題もありますが、これらは順次整備を計って行く心算です。

以上現在検討中の事業案について概略を記しましたが、何よりも会員各位のご協力なくては前に進まないことは自明のことです。少しでも御興味御関心を持たれた方は、御意見をお聞かせ頂いて事業推進に力を貸して頂くようお願いする次第です。どうかどのような事でも結構ですから、お智恵を貸してくださるようお願いしております。

D部会

古川 均

D班は家事、介護分野の家事サー비스、訪問介護および豊中市のこれらに関連する事業を担当し、プロジェクト委員会に基本計

画案を取りまとめ、提案することとなっております。

さきに当班におきまして、事業内容について意見を集約し、独自事業推進プロジェクト委員会に報告をしました。その内容は、

- 一、介護支援事業は認可を受けなければ実施できないこと。また高齢者の介護は相当の体力が要るのでシルバーには無理と思われるので、当面は家事の支援事業を中心に活動する。
- 二、介護対象者の家庭のごみ出し、草刈、植木の手入れ、散水等の支援を行う。
- 三、要介護者の散歩の支援を行う。
- 四、老人保険の患者の通院の支援を行う。
- 五、要介護者等の家庭の留守番、犬の散歩の支援を行う。
- 六、老健施設等におけるベッドメーカーングを行う。
- 七、一人暮らし老人の生活の充実を図るため囲碁、将棋等の対戦相手をする。
- 八、寝たきり、虚弱老人の散髪、洗髪、髪染めの支援を行う。
- 九、当市における家事支援事業や保健事業の委託の拡充要請をする。
- 十、働く親の子育て支援事業につ

いて関係機関と連携して活動を推進する。

右記項目の中で法人や個人が支援事業を実行されているものもあり、その実績等を踏まえより良くするため改善を図ってゆく。

来年度は、介護保険制度の改正時期であり、全般にわたり見なおしが行われることとされています。

とりわけ、在宅介護につきましてもは私共にとって身近な切実な問題であり、多くの改善が期待されているところであります。

医療と介護の境界や、介護と福祉の区分については相互に入りこんだりして、どの範囲までが医療、介護、福祉が難しいものも数多く見られます。

介護も福祉も四六時中、随時適切な措置が求められています。

この時期に多くの市民、会員の皆さんから意見や要望を当プロジェクト委員会に寄せられることを望んでいます。

については、前述の法改正等の行方を見守りながら、家事援助事業と子育て支援事業に視点を当てて推進を図っていくことが最善だと考えます。

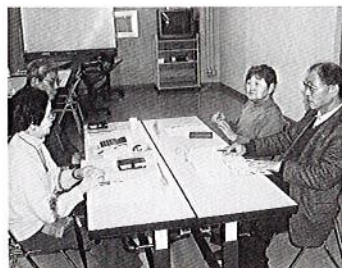
先に厚生労働省は少子化対策と

して、高齢者に短期の仕事を提供する事が出来るよう来年度予算に必要額を要求することが見込まれています。

その具体例として、高齢者が依頼者の自宅に向き、保育園などへの送迎や放課後を利用した就学児の学習支援、しつけ、生活指導、遊び相手になること等いろいろのケースが想定されています。

また、小中学校の余裕教室を活用して地域におけるネットワークを通じ家事支援事業や育児支援事業にも取り組むことは、今後きわめて重要な課題ではないかと痛感しています。

今の日本は「寝かせきり老人」と「児童虐待や子育てに悩む母親」が増えていると言われていると思います。



寝かせきり老人にさせないような家事援助や子育てに悩む働く親子にたいする育児支援を全国のシルバー人材センターが中心となって取り組むことを強く要望して止みません。

賛助会コーナー

- (株)イーパック (日出町)
- 三和ビル(株) (庄内東町)
- (株)高尾鉄工所 (島江町)
- (株)加納 (中桜塚)
- (株)オカキン (原田中)
- (株)渡辺製作所 (名神口)
- ホテルアイボリー (本町)
- (株)湯山製作所 (名神口)
- (株)太鼓亭 (箕面市稲)
- (株)大川歯車製作所 (庄内宝町)
- (株)内田スプリング製作所 (千成町)
- ニ采源エフ・エフ・アイ(株) (三和町)
- 日章アステック(株) (名神口)
- 大阪理研工業(株) (神州町)
- 名鉄観光サービス(株)梅田支店 (大阪市北区)
- やまかつ(株) (大阪市北区)
- 岸岡企業(株) (庄内西町)
- 東栄精機(株) (浜)
- 国産部品工業(株) (新千里東町)
- (有)イーパック物流 (日出町)
- (有)ティアンドピー (尼崎市小中島)
- (株)メガネスーパー (本町)
- 仏光山如来寺 (箕輪)
- 正光山浄行寺 (走井)
- 庄内神社 (庄内幸町)
- 矢部文雄 (上野東)
- 西岡孝 (本町)

(敬称略)

編集のしおり

今回は「就業」をテーマとしたこともあって、会員のみなさんからも多数のエッセイが寄せられました。大変喜ばしいことです。

昨年から立ち上げられた「独自事業推進プロジェクト」の現状・将来の見通し、課題についても原稿を頂きました。

野口編集委員長は自宅療養中とのこと。早期ご快癒を祈ります。

今月号の表紙はいかがでしたでしょうか。藤田副理事長の力作です。

題字は書道同好会の花城さんにお願いました。似顔絵は山階さんにご無理をお願いしました。

シルバー世代の就業と雇用に関わる私達がセンターや会員の意識に関心をもつことは必要なことと考えています。今後とも会員のみなさんの投稿を期待しています。

(編集委員 岡本宗五男)



健康維持と

人材センター



第八班
川端 憲一
私が人材センターを知ったのは、平成六年頃で知人から話を聞き半信半疑で、どう考えても六十歳以上の人々であればゲートボール、囲碁、将棋、内職が旅行会又会食等の指導、幹旋程度であろうと思ひ、別に何も考えうる事もなかったように思います。

たのは、平成六年頃で知人から話を聞き半信半疑で、どう考えても六十歳以上の人々であればゲートボール、囲碁、将棋、内職が旅行会又会食等の指導、幹旋程度であろうと思ひ、別に何も考えうる事もなかったように思います。

当時私は車両の持ち込みで北大阪トラックターミナルで仕事をいただき、西宮市、芦屋市、豊中市方面の宅配をして年金をいただきながら生計を維持しておりましたので、人材センターに対してはあまり関心を持ちませんでした。ところが、平成七年一月の阪神淡路大震災で、私は芦屋市方面に救援物資を運送する事になり、毎日朝早くから夜遅くまで働き、疲労は極限に達し、ある日ふとこれからの人生を考えるようになりまして。

ところで私は三十代で事業を始

め(株)KTファクトリーと命名し代表取締役就任、家電製品の組立工場を経営、老後に備えてそれなりに充実した日々を送り、利益も計上して明るい未来を信じて働いて参りました。ところが昭和六十三年に取引先から思わぬ高額の不渡り手形等により会社は打撃を受け、次第に衰運に向かいました。平成に入るとバブル経済の崩壊によって拍車がかかり経理上粉飾決算である期間を凌ぎましたが、遂に倒産に追い込まれました。会社を整理し土地家屋を売却して債権者支払いに充て、妻と二人公団住宅に居住して前記の運送業を始めました。平成十年精神的体力的に無理を感じ運送業免許を返還して年金生活に入りました。

その後ボランティア等に関心をもち、現在も千里地区副支部長兼会計をさせていただいております。しかしなんとなく生き甲斐を感じなくなり、何か年齢や体力にあつた仕事はないものかと考えていた時、昔お聞きしたシルバー人材センターを思い出し平成十一年に入会させていただきました。

最初の仕事はロードミラーの清掃や学校のクーラー清掃等色々仕事をさせていただき、初めは少し辛かったが、日々の生活に張り合いを見出して参りました。平成十二年には知的障害者施設レインボークのバス運転士。その後豊中市福祉公社の老人送迎の運転士と恵まれた仕事により、老人や会員の

方々との「ふれあい」や絆によって性格的人格的に少しは向上したのではないかと思っております。今年の三月末、公社が民間に委託されて失職した時、センターからチラシ配布の仕事をいただき、再び生き甲斐を見いだし、会員の方々や世間の人々によって健康的で楽しい生活を致しております。私も七十歳を過ぎましたが、まだまだ知らない事が山積しております。今考えますと人材センターを知らなければ現在の私はなかったものと思ひます。年を重ねても人材センターは是非必要であると痛感しております。

「二期一会」



第十一班
増田 穰
増田 穰
は地域に役立つ仕事をとって平成十四年五月に新会員になりました。六月に事業所のごみ排出状況などの調査員の募集があつて、七月一日から九月初めにかけて回りました。市内を十八名で地域割り、一人当たり五百近くの事業所を訪問するアンケート活動でした。私は服部南町、稲津町、浜、北条町、小曾根の五地区内四八二事業所担当となり、自宅の上野坂からバイクで、雨の日にはバスで毎日通ひ続けて一日中

歩き回りました。相手は多種多様な業種で全て初対面の為に、猛暑の中スーツ姿で訪問調査すると「暑い中ご苦労さん」と言われると救われるような思ひでした。暑さ対策にタオル、帽子、着替え用シャツ、扇子、降雨対策に折畳傘、脱水予防に前夜ポトルに凍らせた麦茶、調査票や地図など全てバッグに入れて一軒一軒訪問した結果、約七五%の事業所の協力を得ました。残り二五%は色々な理由で出来ませんでした。アンケート出来なかつた所は断られたのが思つたより僅かで企業倒産、不況による廃業、移転などが主な理由で経済不況を実感しましたが、市民のごみに関する意識は、予想を上回るもので、大変だがこの仕事をして良かったと思ひます。

一回の訪問で質疑応答しながら書いて貰った人、多忙の為に後日訪問して書いて貰った人、調査票を渡して後日取りに何って記入漏れを再質問して納得して貰った人、四回以上行ってやっと会えた人、仕事をしながら答えてくれた人など様々でした。調査の際に聞いたごみに関する要望や意見を後でメモして報告する、失礼な言動は絶対しない、初めに自分の身分を証明する、この人が市のごみ減量に協力しようという意識を高めて貰うように話を進める、又事業所に客がおれば、いない時に改めて訪問する、医院

に患者がいた時も同じく、要は事業所の仕事を邪魔しない、事前説明会での注意事項を守って、関係者全部に迷惑をかけないように進めた。

二か月余りで四八二事業所を回りましたが、二度三度行った所が多かったので千軒位回って千人の方に会った感じです。この人に会うのはこの時しかない「一期一会」。誠意をもって話そう、必ず良い結果が出ることを確信して人と会って互いに意見交換し、我が人生の糧としていく、あの暑い日にこの調査活動を通して人々と接したことが今生の思い出としていつまでも残ることでしょう。

又、私のバイクを長期間駐輪許可して下さった豊中市立障害者福祉センター・しいのみ学園、市立共同利用施設小曾根センター、同じく高川センターの各センター長にお礼申し上げます。このように多くの善意の人に支えられて一切無事故で健康で調査活動が出来ました。他の十七名のメンバーも同じような経験をされたと思います。

センター会員として健康な限り出来ることをたくさんやって行きたいと決意しています。

思いつく



第九班

仲田 俊徳
シルバーの
会員になって

早や一年余、二〇〇二年の九月末時点で会員数は一七〇〇余人、平均年齢が男性六八・五歳、女性六七・五歳の中で、私の位置する所は平均年齢にも満たない若輩者と言う所です。

多くの先輩諸氏が意欲を持って前向きに頑張っておられるのを耳にし、眼にするたびにその元氣さに驚嘆の思いをしています。若輩で諸先輩にはまだまだ及ばざるが如し。努力が足りない！と思う次第です。

現在私は公園の管理、清掃業務に従事して半年余となりましたが、数人でローテーションを組み交代で勤務して来たこの半年余の間に今の世の中の世相を垣間見たように思います。

毎日定刻になればウォーキングやジョギングをする人々、陽の上った頃に先生に引率されてジャングルジムや滑り台を利用して運動に来る園児や、小学校低学年の児童達は公園利用のマナーを守っているのをごちらで見ても気持ちが良いが、飼犬を連れて散歩に来る人達のマナーは両極端に分かれているようです。

ちゃんと後始末をして行くほか、通路の真ん中に残された他

人の犬の落とし物を見るに見かねて後始末をしてくださる人達がおられるかと思えば、「旅の恥は掻き捨て」タイプの一歩外に出れば公共のマナーに反したことをしても何とも思わない、我が飼犬の落とし物の後始末もせずに放置して行く「厚顔無恥」な人達。又夜更けに出てきて公園のトイレ、遊具や器物を破壊し、果てはタバコの灰が、花火の跡からかボヤ騒ぎ迄起こしたりと言った具合で、油断も出来ない勤務の状態が続いています。

それもこれも我々シルバーを含め、良い意味でも悪い意味でも、人は人、己は己の個人主義を尊重し過ぎてきた事が、他人への迷惑を顧みないというより、そういうことに思いつかない、考えられない！世相を作り上げてきたのではないかと、自戒を含め思うこの頃です。

と反省ばかりをしていますが始まりません。それはそれ、これはこれで身体の達者なうちというが、現状の体力維持の為に、新年も公園勤務の間を縫って近郷の山々を歩き年に三〜四回の名山巡りに備えて鍛練をしようと思っ

ています。「木枯らしはかゝる音して吹くものか岡の朝明に耳そばだてつ」

川田 順

いくつになるまで頑張れるか判りませんが、四季折々の景色を眺める山歩きに今年も挑戦しよう

思つこの頃です。

日々明朗をめざして
たのしく童謡を歌いませんか



第三班

安家 周子
暗いニュー
スを積み残し

つつ新年を迎えました。一人一人の環境は違っていても、互いに扶助し合い前向きに進んで行きたい願いで一杯です。一人ぼっちで家に閉じこもっている方に「シルバー人材センター」に入会しませんか」とお誘いしました所、顔を横にふられました。豊中市シルバー人材センターは女性より男性が多く入会されて、定年後の人生を前向きに、職業技術を習得し励み、なお趣味のグループでエンジョイされている様子を伺っています。中でも社交ダンス、ハイキング、旅行に人気があるとのこと、ほほえましく思います。

現代社会は男女を区別しないで職業を選択できる時代になりつつあり、心身を鍛えて新たな職種に挑戦したいものです。そして「老いて子にオンブ」でなく、若者に経済的負担や介護を期待することなく、手を取り合って余命を充実した生活へ邁進したいものです。

私は今も日々幼児教育・保育施設

の現役で、子供達から喜びをもらっています。やさしい童謡を歌うグループで歌い、心をなごませ

ています。

その会はシルバーメンバーです。近所の方に「一緒に歌いませんか」と誘いますと「オンチでね」「譜が読めなくて」でした。気軽に歌ううちにだんだん節が判り、心身がうきうきして日々の生活に張りが出てきています。

当センターでの趣味のグループとして男女混声で大声をはりあげて、豊かな心で日々の生活をはじめめたらいいなあ」と思って一つの提案をしています。「若い時から人間の成長は組織を作って成長し合う」の考えで色々の会の中で生きがいを感じてきました。会員の方々と色々交流し合い、生き生きと楽しい余生を過ごしましょう。



第九班
大野 正明
就業機会開拓専門員として

て仕事を捜して訪問した事業所は一五〇〇社程度とあります。

お陰様で二五〇前後の顧客が出来ました。総て新規開拓先であり将来的には安定顧客として定着させたいと考えております。顧客は市内市外に及んでいます。市内においては製造業、建設業、不動産業、サービス業等々で特に製造業に至ってはほとんど下請けや零細事業所であり、長引く不況で不幸にも廃業や倒産した事業所が増えているのが実体であり、生き残りに必死です。

センターでの最重要な事、それは顧客の開拓であり、続いて会員の就業紹介となります。育てた顧客の定期的訪問と会員の就業状況、新規開拓の顧客を安定顧客に育てる事と新規開拓への営業展開。

開拓は総じて飛び込みであり、ローラー作戦などで動いておりません。紹介を受けた事業所はほとんどありませんが、事業所が事業所を紹介して頂いたケースはあります。中には門前払いを食ったり、それに近い扱いを受けたたり、面会出来ても、とり付く島もない事業所等多様です。

毎月初めに、新入会員の接遇研修会で申し上げている事はセンターと言えども就業を取り巻く環境は益々厳しくなっており、甘えやわがままは勘弁して頂きたい。

就業の会員が嫌われる要因として、まず挨拶をしない。名前を呼んでも返事をしない。自分の良い時だけは返事をする。少し仕事に慣れてくると、あれこれ指示をする。責任感が無く、失敗しても謝らない。理屈を言ったり弁解がうまい。

マナーの点。結果としてその会員には辞めて下さいと、代わりの会員を紹介して欲しいとその事業所が言って頂ければ有難いのですが、やっぱりシルバーはネー、となり顧客を失う事となります。悔しい思いをする時です。

半面、事業所から良い会員を紹介してくれてありがとう、助かっています、と笑顔で謝意を言われるケ-

スガ数多くあります。この言葉が就業開拓をしていて一番嬉しく、更なる意欲が湧いて来るところです。事業所ではシルバーには期待を込めて、こう言われます。スピードは求めている。黙ってコツコツと仕事をしてくれる事です……と。終わりに仕事は一生懸命、遊ば事も一生懸命、健康で充実した日々を送ってください。

音



第十班
北森 隆幸

サーラァー サラァー
心にしみいる
美しいすんだ水音
幼い頃から
今も懐かしい水音



コットン コットン
力強く
米搗く杵の音
異国のあの地で
思い惚んだ杵の音

バサー バサー
元気な さわやかな
戦争のない
平和を望む
羽音

はどの 羽音

ショート・ショート



第十一班
脇本 篤人

「しる姿」

疎水沿いの、枝垂れ柳の青む並木道を、髪を長くした女の人が、少し先を歩いている。

足長ですらりとして、とてもスタイルのいいうしろ姿の女性。

長い髪を、吹く風にまかせ、リズムカルに歩いている。

時折り柳の枝に手を差し伸べてたわむれながら、「いいなあ」と惚れ惚れしながら思わず速足になった。

やっと追い越しざま、何気ない風を装って振り向いた。

人類は美人を一人減らしてしまっ

た。

lunguqi

おもちゃ遊びをしていたボクが、ふと顔を上げ「ママ、ボクはどうしてママのお腹の中にいたの？」

若いママは、ちよっとドギマギしましたが、「ア、それはね、このとりが赤ちゃんの卵を、ママのお腹に運んでくれたからなのよ」

「ふうん、このとりかア」

と、おもちゃ遊びに戻りましたので、若いママはホッとしていました。

や、あって、

「ねえママ、じゃあパパはボクのお父さんじゃあないんだね」

同好会だより

ハイキング同好会

第十三班 羽生 恵光

二〇〇二年 最後の行事。今回は、京都洛外鞍馬山の縦走、貴船附近の紅葉狩。

天候不順のため、一週間遅らせ第三土曜日に変更致しました。

参加人員十五名、天候は薄曇り、それでも阪急河原町駅、京阪四条駅に到着すると、行楽の人々で駅構内は混雑しておりました。

叡山電車出町柳駅では、私たち同様、リュックを背負った団体でござつたがえておりました。

一電車見送り全員席に着き、のんびりと車窓を楽しんでおります。途中、二の瀬駅、貴船駅の間、両側より紅葉が、トンネルを作り、車内が紅く染まり、歓声が上がりました。まもなく鞍馬駅に着、人員確認。体調も異常なし。

百メートル先の仁王門で記念撮



影。

仁王門で

愛山料金二百円を払い、標高五百十三メートル。

九十九折りの参道が長い坂道です。自信の

無い人にはケーブルの利用をす

めたが、全員徒歩、元気一杯です。

うっそうとした木立の鞍馬山、

中腹に位置する鞍馬寺、牛若丸と源義経が幼少時代を過ごしたというお話は、あまりにも有名です。

壮大な仁王門をくぐって、急な石段を一気に登り、一息つくくと、「鞍馬の火祭」で有名な、由岐神社の神前。「一礼」すぐまた

九十九折の参道を、ひたすら登り、さらに石段を上ると、正面に朱塗りの、金堂が建つ広い境内に出ました。金堂には、鞍馬尊天がまつられています。一汗かいたので冷たい風が心地よく、又眼下に広がる山を染めた紅葉。食事を済ませ下山に対する注意、休息場所の打ち合わせ後、一時二十分貴船に向かう。金堂を出ると、石段、又石段、やっと頂上附近の大杉権現に着



く。「義経公息つぎの水」や「源義経公背比石」、さらに杉の根っこが血管のように、複雑にからみ合った



「木の根道」を通って、大杉権現社へ。アップダウンの道を進み、「魔王殿」。ここからジグザグの急な坂道を下って行きます。二十分程で、沢の水音が聞こえ鞍馬縦走の終着点、貴船に着きました。貴船神社奥宮に参拝後、貴船口駅に向かい下山。貴船料理店街は道路が狭く、昔ながら建物が並び、情緒ある風景を、散策、談笑しながら、二キロメートル程歩き貴船口駅に。駅もホームも満員状態でしたが、全員乗車。電車は、紅葉、黄葉のトンネルを通過、出町柳駅へと、短い錦秋の一日のハイキングも終わりに近づきました。

T・シルバートラベル同好会

第一班 山田 英明

我々が子供の頃は旅行するなんて夢を見るような出来事であったように思う。しかし時代の変遷により人々の思考も世相に反映して、しかもその時のブームに乗り我も我もと旅行に夢中になった一時もあった。八、九年前は人材センターの一泊旅行で参加人員を募集したところ参加希望者が受付

当日センターの玄関前に列を作った嘘のような本当の話があるように、その頃はどこの観光地に行っても大型観光バスが列を作っていた。それが今では一泊旅行で大型バス二台分の人数を募集しても参加者が一台分がやっと揃ったと云うご時世に変わって来た。私がお世話させていただいているTシルバートラベル会も最盛期には七十有余名の会員数だったが現在では半減してしまった。現在ではセンターの旅行もトラベル会の旅行もこの辺で一度考え直す必要があるのではと思う。例えば一泊旅行を二泊三日の旅行にするとかして目新しい行事を考えないと人が集まらないのかも知れない。今迄のようにセンターの旅行は安いから行くと言うのではなく、少し贅沢な、ちよつぱり豪華な、旅行に考えを変えたらと思う。飛行機に乗るもよし。新幹線の、のぞみ、はやて、で行くのも又楽しいかも知れない。狭い座席で長時間のバスツアー、一泊した翌日の朝の慌しさはもうごめんと言いたい。

美術サークル同好会

第一班 山階 康雄

十一月二十九日紅葉には少々遅すぎたようだが美術サークル本年最後の屋外スケッチ、服部緑地中央に九時三十分集合、スケッチの後忘年会を予定しているので十二時迄とする。多忙な一日となる。

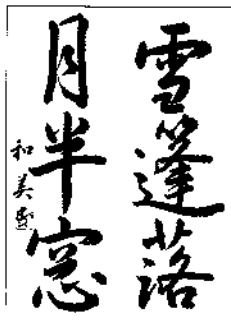
幸いスケッチにはこの上ない日和に恵まれ短時間ではあるが、描きたい風景はいたるところにある。それぞれの良い場所を求めて散る。このようなグループであるからこそ、屋外スケッチ活動が出来る。気心の知れた仲間同士が好きな絵を求めて描く。これからも先々年老いても少しでも続けられる事を改めて念じたい。会員数も少しずつではあるが増えている。スケッチの出来ばえは別として、好きな絵に没頭出来ればそれで良いのである。うろつろつしている間に時間が過ぎ、もう少しあれば完成出来たのにとぼやきながら、所定の場所が集まり、それぞれの出来ばえを見せ批評しあう。一人ずつ個性的な風景画であり、勉強になる。絵は短時間で自分の目に映った景色を画面にどのように表現するか其のポイントが中々思うようにいかない。枚数を多く描く以外にないように思う。

予定通り、十二時過ぎに一団となり、市民会館迄ぞろぞろと歩きながら行く。本年最後のスケッチであり、ささやかながら早目の忘年会であるが、皆でがやがや言いながらの食事を共にする事もグループとして良い事であると思う。お一人様一、〇〇〇円で市民会館地下グリルにおいて、打合せ通りビールで乾杯「これから仲睦まじく良いグループでありますように来年もよろしく」会長の挨拶。予約2時間少々酒も入り食事

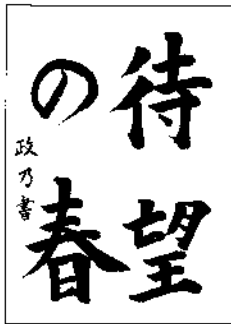
と雑談でまたたく間に時間切れ。来年は一月から三月頃迄、寒い間は、くらしかんを借り、静物でも描きましよう。グループ全員が笑顔で迎えらるるように。

書道同好会

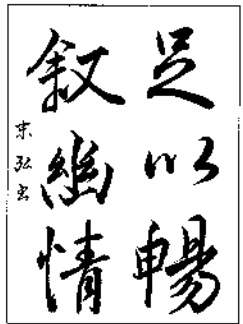
第十五班 平井 義治
センターの書道同好会に入会するまでは我流でよしとしてきましたが、四人の優れた師範のご指導と同好の士とのふれあいが功を奏し「目から鱗」は二度三度書に親しむ域には程遠いが、今では実施日が待ち遠しい有り様です。
ちなみに小生、入会二年未滿。



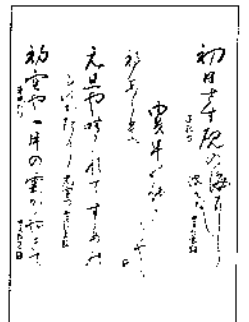
第12班 杉村 和美



第13班 今村 政乃



第18班 前田 末弘



第11班 谷口豊次郎

囲碁同好会

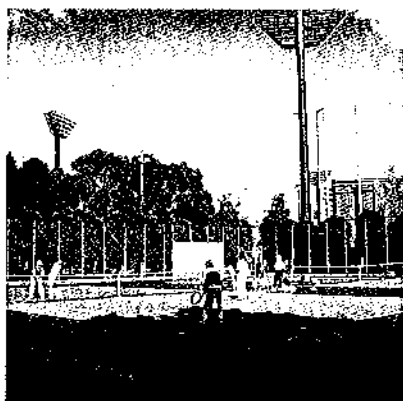
第三班 梶浦 武彦
本年も残す所僅かになりましたが皆様お元気でお過ごしのことと拝察致します。その後の本同好会の動静をご報告申し上げます。

本年冬期の囲碁大会は、二月一日十二名の参加者で開催し、黒田氏の優勝、小波氏の準優勝で終了致しました。引き続き夏期の囲碁大会は、シルバー人材センターのお世話で近くの国際交流センター一階の桜塚自治会館(和室)をお借りして八月二十三日、十二名の参加者により熱戦を展開し、岸本氏の優勝、石橋氏の準優勝でその幕を閉じました。その後同好会員数に増減がりましたが、十月五日現在で二十七名になっております。またシルバー人材センターよりのご希望で毎週の例会の開催時刻が十五分遅くなり一時間四十五分からとなりましたのでご承知置き願います。次回の囲碁大会は、来年一月末頃に実施の予定にしておりますので、本同好会員各位の研鑽と参加を大いに期待しております。

テニス愛好会

第十三班 藤田 泰通

愛好会の練習日にはどれ位の歩数を動き廻っているだろうか。普通の歩数計を使ってではあるが調べてみた。即ちゲーム中歩数計を腰につけ、一セット終わるごとに数値を読み取りその合計をゲームの合計数で割って、一ゲームの平均歩数を類推した。約六十ゲームでの合計は二万歩強、一ゲーム平均三百五十歩程。所で練習日二時間のゲーム数はその日の出席人数によってまちまちであるが、十五から二十五ゲーム位すると五千から九千歩位となるうが。但しテニスではウォーキングと違い前後左右に走り廻ったり細く身体を動かしたりするので、歩数計の数をそのまま実際の歩数と見てよいかどうか甚だ疑問ではあるが、まあ一応の目安にはなるであろう。ともあれ会員一同汗をかきながらゲームを楽しんでいる。



なかなかの手さばき ビルクリーニング研修会

第八班 佐藤 アツ



私は“ふれあい”帽子

十月二十五日(金)、センター会議室でビルクリーニング研修会が開かれた。講義のあとフロアポリッシャー(床みがき機)の実技に移り、十二人の参加会員は順番に操作の実地指導を受けた。講師



は武田化工(株)・竹熊巖氏。図らずも私もポリッシャーをさわらせてもらい操作のむずかしさを体験することになりました。

研修の合間を縫って有田直幸さん、武藤誠爾さん、脇本篤人さんに、ビルクリーニング班の仕事についていろいろお伺いした。

この仕事は二〇〇〇年から始動



した開拓事業で、センターの歴史から見れば緒についたばかり。現在メンバーは十人くらい。平均して月に二、三件、年末とお盆休みのある八月には八、十件ととても忙しい。大体三、五人の二組編成でポリッシャー使用に熟練した有

田さんと鹿松作治さんがリーダーになって仕事に当たると。

二とポリ容器の中性洗剤シユアリン、十八と入りワックス、ポリッシャーにモップなどの用具を車に積んで八時半出発、九時から十六時ごろまでに仕上げる。屋内の仕事とはいえ、やはり雨の日や冬場は困るといふ。乾きにくいので予定通りいかないことになる。建物の規模や汚れ具合にもよるが。

仕事の手順は、養生という汚してはいけない所の保護から始まって、除塵、表面(又ははく離)洗剤の準備、洗剤塗布、洗浄、汚水回収、水拭き、乾燥、ワックス掛け、乾燥で終了する。



研修会では初めての人でもなかなかの手さばきで感心したもののポリッシャーの操作はむずかしい!むだな力が入ってしまいいたをするとなら壁を傷つけたりガラスを割る。「限られた時間、受注に合わせて慣れた人がすることになり技術がなかなか身につかない」と武藤さんの弁。ポリッシャー操作の練習日なども設けたら喜ばれるのではないだろうか。

今年の夏のこと、桜塚保育所のクリーニングを受注し、はく離作業を行った。真っ黒だったフロアがみごとに甦り、子供たちの顔がうつるほどきれいになった。終了後先生の手紙を添えて子供たちからお礼の絵が届いたという。何だか私までうれしくなった。
有田さん、武藤さん、脇本さん、ありがとうございました。